

臨床心理専門職になるために 何をどのように学んでほしいか

東京大学の臨床心理学カリキュラムをたたき台として

東京大学大学院
臨床心理学コース
下山晴彦

<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/shimoyama/>

何を学ぶか

- 臨床心理士になるためには、少なくとも何が
できなければいけないのか？
- 臨床心理学とは何か？
- これが定まっていなければ、「何を学ぶのか」
を議論できない！

東京大学臨床心理学コースのカリキュラムの基本コンセプト

1. 臨床心理学をどのように定義するか

『臨床心理学』『心理療法』『カウンセリング』の違い

- **臨床心理学**

心理学の一分野として、研究に基づく“実証性”と“専門性”を重視する。介入の効果研究を行い、有効な介入法を採用する。専門性が行政や他の専門職から評価され、大学での地位を確保し、社会的資格を得ている。現在では、認知行動療法を中心に総合的な心理援助を、他の専門職で協働してコミュニティにおいて実施する活動を展開している。

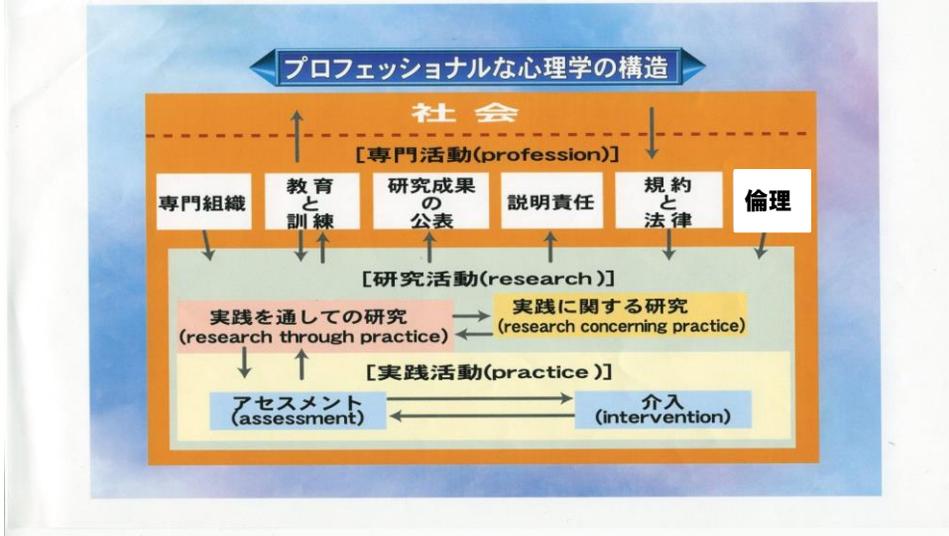
- **心理療法**

精神分析に代表される、特定の心理療法の学派の活動を重視する。その学派の理論を習得し、学派の技法に特化した実践を発展させることを目指す。“学派性”が重視され、大学ではなく、私的な研究所を中心に教育訓練を行う。

- **カウンセリング**

ロジャーズが提唱した“人間性”を重視する活動として、心理学に拘らない幅広い領域に開けた人間の援助の総合学を目指す。ボランティアの人たちも含めるなど、専門性よりも“素人性”が重視される。

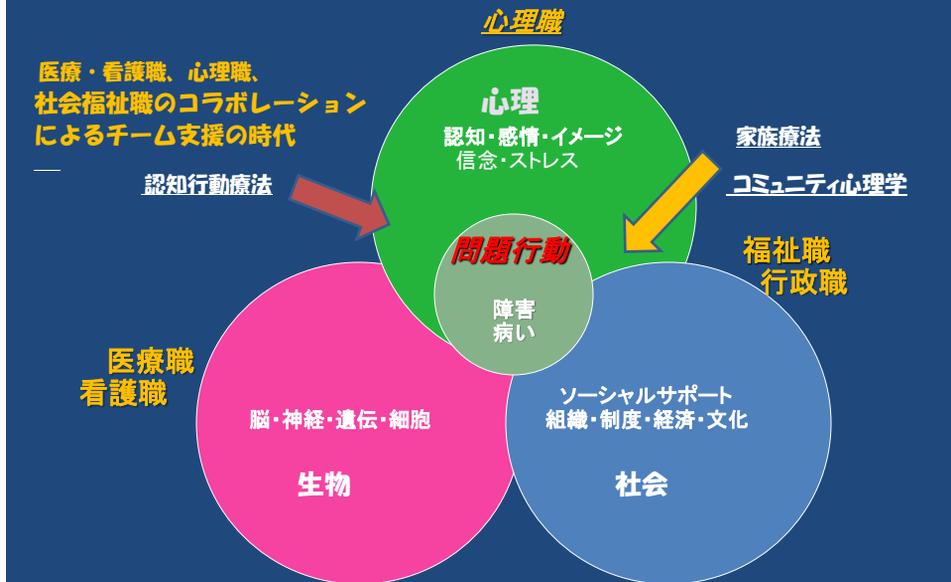
構造として臨床心理学を理解する



実践活動・研究活動・専門活動



多職種協働によるメンタルヘルス活動



心理職の実践技能体系



テーマ：臨床心理学の多様な要素をつなぐ

⇒ 個人と社会をつなぐ

さらに生物-心理-社会モデルへ

カウンセリング→認知行動療法・家族療法・コミュニティ心理学→他職種協働

⇒ 研究と実践をつなぐ

さらに質的研究と量的研究の統合へ

⇒ 教育訓練と臨床現場をつなぐ

研修システムの充実へ

2014/9/1

9

カリキュラムの構造

- ・ 臨床心理学特論Ⅰ : 専門職になるとはどうか
- ・ 臨床心理基礎実習Ⅰ : 臨床コミュニケーション技能の基礎
- ・ 臨床心理基礎実習Ⅱ : 子どもの臨床コミュニケーション技能の基礎
- ・ 臨床心理査定演習Ⅰ : アセスメントからケースフォーミュレーションへ
- ・ 臨床心理査定演習Ⅱ : 心理検査法の基礎
- ・ 臨床心理学研究法Ⅰ : 質的研究法
- ・ 臨床心理学研究法Ⅱ : 量的研究法
- ・ 臨床心理面接特論Ⅰ : 認知行動療法・家族療法・コミュニティ心理学・・・
- ・ 臨床心理面接特論Ⅱ : 研究のための面接法
- ・ 臨床心理実習Ⅰ : 事例検討を通してのケースマネジメントの技能
- ・ 臨床心理実習Ⅱ : 事例検討を通してのケースマネジメントの技能
- ・ 臨床心理学特論Ⅱ : 社会で働くためのシステムオーガニゼーションへ

教育訓練課程のガイダンステキスト

ー臨床心理学カリキュラムの全体像を示すー

- 『臨床心理学をまなぶ1 これからの臨床心理学』
(東京大学出版会)
- 1. 臨床心理学を知る
- 2. 進化する臨床心理学
- 3. 臨床心理学の基本構造
- 4. 欧米文化と臨床心理学の発展
- 5. 日本における臨床心理学の発展

東大臨床心理学コースでは、専門職としての態度の形成を重視します

2. 技法を学ぶ前に考えてほしいこと

臨床心理学特論1

- 心理援助の専門職になるということ
- なぜ、選んだのか。自己の動機を知る
- 仕事としての責任
- どのように学ぶのか
- 倫理と価値観
- 仕事をし続けるために
- 文献

特論1テキスト『心理援助の専門職になるために』
(金剛出版)

1章:心理援助の専門職は、あなたに向いているでしょうか

2章:教育訓練における学習をより効果的にするために

3章:援助過程を構成する諸段階

4章:初心者が直面する問題

5章:援助専門職が直面する倫理的問題

6章:価値観と援助関係

東大臨床心理学コースでは、実践技能を体系化し、基礎技能から発展技能に段階的に学習するように訓練カリキュラムを組み立てています

3. 段階的に実践技能を学ぶ

実践活動の教育のPolicy

- 実践活動(介入技法)の多様性を教える
- アセスメント(+最新の異常心理学の知識)に基づく介入へ(有効性の意識)
- 日常場面と社会の中に実践活動を位置付ける
- 他の専門職や準専門職との連携を視野に入れて実践活動を展開することを教える

 個人心理療法に特権を与えない

さまざまなコミュニケーション技法

社会的関係を形成するコミュニケーション

リファー、連携、チーム、リーダーシップ……

介入のためのコミュニケーション

曝露法、認知再構成法、箱庭、家族システム介入法……

アセスメントのためのコミュニケーション

アセスメントからケースフォーミュレーション

協働関係を形成するコミュニケーション

カウンセリングの基本技能

技能訓練のシステム

修士課程1年

前期: ロールプレイ ①共感面接／②査定面接

アセスメント演習(CF, 診断、初回面接)

受付面接の陪席／初期カンファでの発表

夏休み: 試行カウンセリング* →事例担当(相談室)

後期: Aクリニックでの予診実習*

Bクリニックでの検査実習*

修士課程2年

医療、学校、福祉施設での研修

大学病院精神科での研修*

博士課程1年

総合病院でのインターンシップ(含むリエゾン研修)*

(*ゼミ単位、あるいは希望者を対象)

カウンセリングの基本技能

- **ロールプレイ1: 日常的话题**

聴く技能の習得: 共感的コミュニケーション

- **ロールプレイ2: 問題事態の役割演技**

訊く技能の修得: 査定的コミュニケーション

- **試行カウンセリング**

ケースフォーミュレーション技能の修得

参考:

心理臨床の基礎1 心理臨床の発想と実践(岩波書店)

カウンセリング・テキスト (Egan、J) (創元社)

基礎実習テキスト『臨床心理学をまなぶ2 実践の基本』 (東京大学出版会)

1. 実践の基本とは何か
2. 実践の基本構造を知る
3. つながりをつくる技法をまなぶーコミュニケーション
4. 見立てをもつ技能をまなぶーケース・マネジメント
5. 場をしつらえる技能をまなぶーシステム・オーガニゼーション
6. 物語をつなぐ実践

カウンセリング技法実習の副テキスト

熟練カウンセラーをめざすカウンセリング・テキスト(創元社)

- **1. 援助とは**
 - 1) 援助の専門家としてのカウンセラー
 - 2) 援助モデルの概観
- **2. 基本的なコミュニケーションの技能**
 - 1) かかわりと傾聴
 - 2) 共感とプローブ(探索)
- **3. ステージ1：現在のシナリオ**
 - 1) 話せるように援助する
 - 2) 焦点化
 - 3) 促進すること:新しい展望に向けて
 - 4) 促進の技能
- **4. ステージ2：好ましいシナリオの開発**
 - 1) 新しいシナリオ作りと目標設定
- **5. ステージ3：クライアントの実行を援助**
 - 1) 実行のための方略を考えるのを援助
 - 2) 方略を選択肢、実行計画を作成
 - 3) 実行ークライアントの計画実行を援助

21

アセスメントからCFへ

- アセスメントを単なる心理検査として教えないこと！
- 最新の異常心理学の知識の教育(テキスト臨床心理学)
- 生物-心理-社会モデルへ
- 精神病理学(病理診断)を越えて
- 単なる病理診断から機能分析へ
- 機能分析の手段として面接、観察、検査を活用する枠組みの教育
- データを統合してケースフォミュレーションへ

査定演習テキスト『臨床心理アセスメント入門』 (金剛出版)

- 0. 臨床心理アセスメントとは何だろうか
- 1. 問題意識
- 2. 医学的診断を超えて
- 3. 問題のメカニズムを探る
- 4. アセスメントを意味あるものにする
- 5. 介入の方針を定める
- 6. 初回面接(1)
- 7. 初回面接(2)
- 8. 改めて臨床心理アセスメントを考える

大学病院での研修プログラム*

- **外来予診**：患者の予診をとり、担当医の初診に陪席し、指導を受ける
- **デイケア**：発達障害児の療育プログラムに参加
- **デイホスピタル**：精神疾患者の社会復帰支援プログラムの参加
- **回診**：精神科教授の回診に陪席
- **リエゾン**：精神疾患が懸念される他科入院患者の往診の陪席

実習(研修)テキスト『精神医学を知る』
(東京大学出版会)

1. 生物-心理-社会の見かた
2. 精神科医の診かた
3. ライフサイクルの視点から
4. 生物学の視点から①—脳科学を中心に
5. 生物学の視点から②—遺伝と薬理

※副テキスト『テキスト臨床心理学1～5+別巻』(誠信書房)

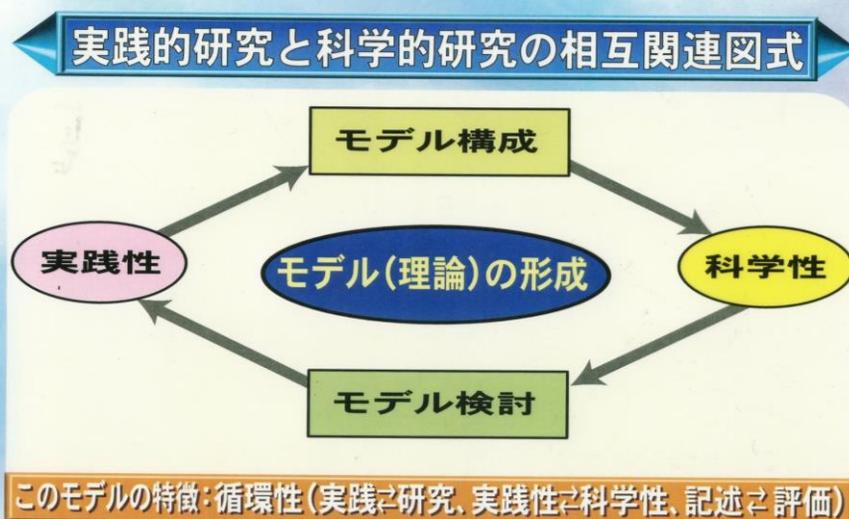
東大臨床心理学コースでは、科学者—実践者モデルを採用しています

4. 実践視点から研究活動を学ぶ

研究活動の意味

- 現代社会における問題とその解決技法を提案する
⇒ 現場の実践からモデルを構成する
- 実践活動の有効性を社会に示す
⇒ モデルの効果を検討する
- 基礎-応用図式から実践-研究循環図式へ
⇒ 実践と研究の統合
- 研究の倫理

実践-研究の循環図式



実践的研究の種類

実践を通しての研究(≡仮説生成)

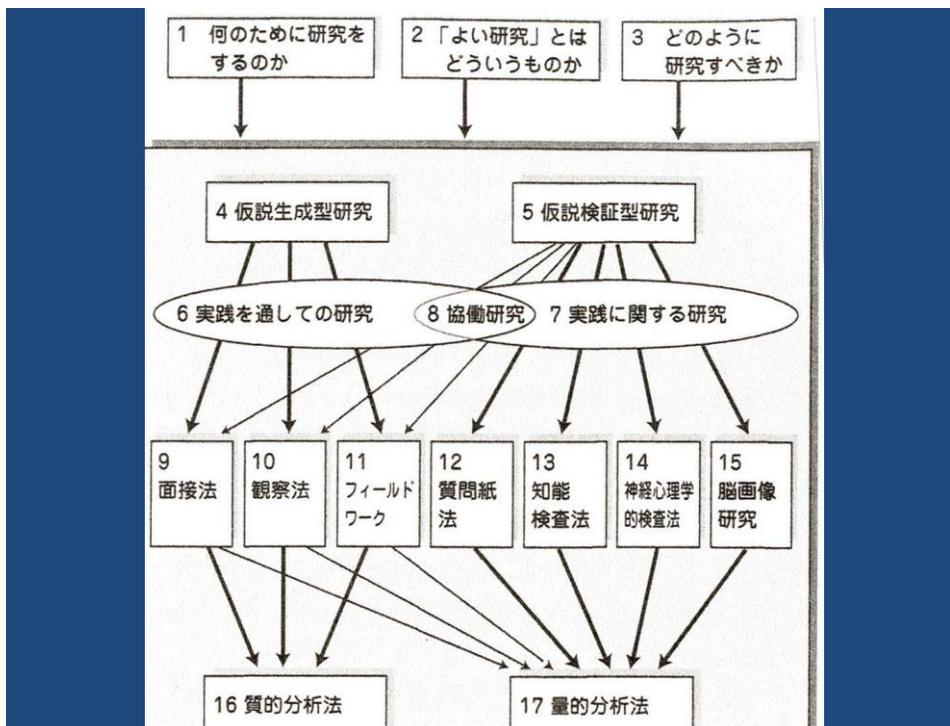
- 実践を通して仮説、モデル、理論を生成する
- 質的研究を活用 例:GTA TEM

実践に関する研究(≡仮説検証)

- 理論やモデルから導き出された仮説を検証
- 量的研究を活用 例:調査研究、アナログ研究、効果研究

両者を組み合わせた研究

アクションリサーチ



研究法テキスト『心理学の実践的研究法を学ぶ』
(新曜社)

1. 意義ある実践的研究をするために
2. 実践的研究の型
3. 実践的研究の枠組み
4. 実践的研究の技法1ーデータ収集法を中心に
5. 実践的研究の技法2ーデータ分析法を中心に
6. 実践的研究の進め方

東大臨床心理学コースでは、社会の中に臨床心理学活動を位置づける
ことができる専門職の養成を目標としています

5.最後にもう一度専門活動を学ぶ

現場における心理専門職の多元役割

- アウトリーチ活動
- コミュニティを教育する
- クライエントの代弁者
- 政策立案者に影響を及ぼす
- 他職種(+準専門職)との協働
- 危機介入

面接特論テキスト『心理援助の専門職として働くために』 (金剛出版)

1. コミュニティにおける心理援助
2. コミュニティにおける心理援助の実際
3. グループを通しての心理援助
4. 家族を通しての心理援助
5. 人生の移行について理解する
6. ストレスとバーンアウト